

事務事業名 墓地管理経費（墓参バス借上げ料）

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
小分類	5	葬斎場・墓地の整備
主要な施策	2	墓地の整備
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 - 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスグループ
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	富浦墓地及び第二富浦墓地、亀田霊園は、市街から離れた高台にあり、近くに駅及びバス停等がないことから、墓参困難者を救済するため、お盆時季に無料墓参バスを運行する。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	富浦墓地及び第二富浦墓地については、美園・上鷺別・鷺別地区、若草・幌別地区、幌別・登別地区の3ルートを設定し墓参バスを運行。また、亀田霊園については、イオン登別店前バス停から市バスの運行によるピストン輸送を行った。  【平成23年度実績】 ・運行日 平成23年8月13日(土) ・運行台数 富浦墓地、第二富浦墓地：3台 亀田霊園                  ：1台(市バス使用) ・乗車人数 富浦墓地、第二富浦墓地：77名 亀田霊園                  ：18名(延べ人数 8往復)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	今後についても墓地利用者の高齢化等により墓参バス利用者があることと見込まれ、現行に代わる民間バス等での公共交通手段がないために継続をしていく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	120	120	120	120	120
事業費 合計			120	120	120	120	120

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	乗車人数	人	目標値	172	132	132	132	132
			実績値	67	77			
	乗車率	%	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	39	58			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
乗車人数は、乗車定員の半分程度しかいない状態である。	乗車人数に合せ、バスの運行台数の縮小を図ったほか、周知方法の拡充に努めた。	
運行台数 4台（うち1台は市バス使用） 乗車人数 67名 各経路の乗車人数 ・美園・鷲別・上鷲別地区 20名 ・若草・幌別地区 27名 ・幌別・登別地区 20名 周知方法 ・広報紙 ・市ホームページ ・市民サービスだより	現状の乗車人数に合せ、運行台数の縮小を図った。 乗車人数 77名 各経路の乗車人数 ・美園・鷲別・上鷲別地区 20名 ・若草・幌別地区 26名 ・幌別・登別地区 31名 広報紙の掲載を3分の2ページから1ページに拡大することで見やすくしたほか、市民サービスだよりによる周知を1回から2回に増やした。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 現行に代わる民間バス等での公共交通手段がないため、墓参困難者の救済制度としては有効である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 当該墓地はバス停留所からの距離があり、墓地まで急な坂道であることから、交通手段を持たず墓参が困難な方の不便を解消するために本事業を実施している。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 以前に比べると利用者数は減少しており、経費は一定額掛かるが、民間バス等での代替手段がなく、墓参困難者を救済するための制度であるためやむを得ない。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 便数の減少や自家用車の普及等の影響もあり、以前から比較すると乗車数は減少傾向にあるものの、墓地利用者の高齢化等により墓参バス利用者があることと見込まれ、市民からも当該バスが無いと墓参ができないとの声もあるため、一定程度の成果はあがっていると考えられる。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	当該墓地は市街より離れた高台にあり、バス停留所からの距離もあり交通手段を持たず墓参が困難な方の不便を解消するために本事業を実施している。また、現行に代わる民間バス等での公共交通手段がないため、今後も利用状況等を注視した中で、運行台数の縮減及び運行経路等の見直しに努める。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
----	----	--